



令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年8月9日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL) 06-7711-2571
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	20,737	1.0	1,356	12.3	1,501	5.2	1,009	7.0
31年3月期第1四半期	20,524	8.6	1,207	3.9	1,426	4.4	942	△1.4

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 1,977百万円(137.8%) 31年3月期第1四半期 831百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	18.28	—
31年3月期第1四半期	17.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	88,824	58,552	64.8
31年3月期	88,092	57,031	63.6

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 57,593百万円 31年3月期 56,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		8.00		8.00	16.00
2年3月期					
2年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	5.6	2,500	12.5	2,700	4.7	1,700	0.4	30.59
通期	90,000	5.9	5,800	13.7	6,200	7.2	3,700	5.9	66.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2年3月期1Q	55,577,526株	31年3月期	55,577,526株
2年3月期1Q	372,986株	31年3月期	372,885株
2年3月期1Q	55,204,591株	31年3月期1Q	55,204,912株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調がみられたものの、米中貿易摩擦の激化による世界経済の減速懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は207億37百万円（前年同期比1.0%増加）、営業利益は13億56百万円（前年同期比12.3%増加）、経常利益は15億1百万円（前年同期比5.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9百万円（前年同期比7.0%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、化学、半導体などの仕向け先において減速感がみられるなか、シリンダーガスビジネスの収益力強化のため生産体制の合理化などを進め、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、建設、土木など現場工事向けの需要が減少したものの、新規需要先の獲得や価格改定の効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、アルゴン、炭酸ガス、冷媒用ガスが新規需要先の獲得により増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注減少により、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、消火装置向け容器が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は152億96百万円（前年同期比0.4%減少）となりました。営業利益は13億45百万円（前年同期比24.0%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料価格が安定してきているものの、一部の原材料は高止まりをし、引き続き厳しい状況が続いているなか、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが木工用、土木用が海外向けに需要を伸ばし、シアノンが海外向けのコンシューマー用が減少したものの、ペガロックが新製品による新規需要先の獲得により国内向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築塗料が新製品「ウォールバリアシリーズ」の伸長により増加し、塗料用エアゾールが前期並みであったものの、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は46億50百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。営業利益は3億49百万円（前年同期比5.6%減少）となりました。

③ その他事業

その他事業は、海外向け光学機器の需要が大幅に減少したものの、L S I カード関連は前期並みに推移し、また、食品添加物が新規需要先の獲得により増加し、売上高は7億90百万円（前年同期比5.4%増加）、営業損失は29百万円（前年同期は、37百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億31百万円増加して888億24百万円となりました。流動資産は、現預金、売上債権が減少したことにより前連結会計年度末に比べ13億39百万円減少して、496億82百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加や投資有価証券の時価が上昇したことにより前連結会計年度末に比べて20億70百万円増加し、391億42百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億90百万円減少して302億71百万円となりました。流動負債は、仕入債務、未払法人税等などの減少により前連結会計年度末に比べ15億18百万円減少し、241億1百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債の増加により前連結会計年度末に比べ7億28百万円増加し、61億70百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、有価証券評価差額金、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ15億21百万円増加して585億52百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和元年5月15日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,165	20,082
受取手形及び売掛金	21,967	21,105
電子記録債権	3,002	3,143
商品及び製品	2,732	2,989
仕掛品	489	562
原材料及び貯蔵品	1,348	1,335
その他	388	535
貸倒引当金	△73	△71
流動資産合計	51,021	49,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,499	7,607
機械装置及び運搬具（純額）	2,923	3,186
土地	13,271	13,290
建設仮勘定	757	1,125
その他（純額）	1,010	1,052
有形固定資産合計	25,463	26,263
無形固定資産	430	415
投資その他の資産		
投資有価証券	10,352	11,644
繰延税金資産	141	142
その他	748	742
貸倒引当金	△65	△65
投資その他の資産合計	11,177	12,464
固定資産合計	37,071	39,142
資産合計	88,092	88,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,464	11,496
電子記録債務	6,395	6,265
短期借入金	1,396	1,416
未払法人税等	1,037	238
賞与引当金	1,178	592
その他	3,147	4,091
流動負債合計	25,619	24,101
固定負債		
長期借入金	3,000	3,137
退職給付に係る負債	357	354
役員退職慰労引当金	19	19
繰延税金負債	1,260	1,856
その他	805	801
固定負債合計	5,441	6,170
負債合計	31,061	30,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,760	2,765
利益剰余金	47,214	47,779
自己株式	△199	△199
株主資本合計	52,660	53,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,645	4,522
為替換算調整勘定	12	28
退職給付に係る調整累計額	△244	△188
その他の包括利益累計額合計	3,412	4,362
非支配株主持分	958	959
純資産合計	57,031	58,552
負債純資産合計	88,092	88,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	20,524	20,737
売上原価	14,932	14,946
売上総利益	5,592	5,791
販売費及び一般管理費	4,384	4,434
営業利益	1,207	1,356
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	109	116
受取手数料	27	27
為替差益	25	—
その他	97	106
営業外収益合計	260	252
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	—	36
その他	33	63
営業外費用合計	41	108
経常利益	1,426	1,501
特別利益		
固定資産売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	6
固定資産売却損	14	—
特別損失合計	14	6
税金等調整前四半期純利益	1,417	1,495
法人税、住民税及び事業税	371	328
法人税等調整額	92	150
法人税等合計	463	479
四半期純利益	953	1,016
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	942	1,009

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	953	1,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	888
為替換算調整勘定	△55	16
退職給付に係る調整額	14	56
その他の包括利益合計	△122	961
四半期包括利益	831	1,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822	1,959
非支配株主に係る四半期包括利益	8	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として14年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間から費用処理年数を主として11年に変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,360	4,414	749	20,524	—	20,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,360	4,414	749	20,524	—	20,524
セグメント利益又は 損失(△)	1,084	370	△37	1,417	△209	1,207

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△209百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を一部見直し、従来の「化成品事業」に含まれる一部商品の報告セグメントを「その他事業」に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,296	4,650	790	20,737	—	20,737
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,296	4,650	790	20,737	—	20,737
セグメント利益又は 損失(△)	1,345	349	△29	1,664	△308	1,356

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△308百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。